

令和5年度 第1回 浦安市災害医療対策会議 議事要旨

1 開催日時

令和6年2月16日（金） 午後6時30分～午後7時00分

2 開催場所

Web会議形式（Zoom）

注記：事務局及び傍聴席は、庁舎4階 災害対策本部室に設置

3 出席者

[会長]内田健康こども部長

[副会長]吉泉健康こども部次長

[委員]

上田委員、高須委員、楨坪委員、後藤委員、金子委員、岡本委員、唐島委員、竹本委員、影山委員、河合委員、小泉委員、河野委員、山崎委員

[事務局] 健康増進課

梅澤主幹、中村、安永、小山、田中

4 傍聴

傍聴者：2名

5 議事

- (1) 浦安市地域防災計画について（救護所の追加）
- (2) 救護所標準レイアウトについて
- (3) その他

6 議事の概要

- (1) 浦安市地域防災計画について（救護所の追加）
発災時に開設する医療救護所に新たにタムス浦安病院を位置づけることについて、説明と質疑応答を行った。
- (2) 救護所標準レイアウトについて
救護所標準レイアウトの策定とその意義について、説明と質疑応答を行った。
- (3) その他
その他今後の方針について、説明と質疑応答を行った。

7 会議経過

- (1) 浦安市地域防災計画について（救護所の追加）
発災時に開設する医療救護所に新たにタムス浦安病院を位置づけるため、地域防災計画の改訂を行うことについて、事務局から説明した。この議事について、委員からの主な質疑

とそれに対する回答は以下のとおり。

委員：浦安中央病院と堀江中学校は距離も離れていないため、救護所として統一するのはどうか。

事務局：堀江中学校は、災害時に避難所や救護所として位置付けられており、救護所として統一するなど、変更する場合は、近隣住民や自主防災組織等の関係者のご意見などをいただきながら、変更する必要があるものと考えている。については、当会議でいただいた意見と併せ、今後の検討課題とさせていただきたい。

委員：救護所運営の人員に限られるので、人員をまとめる必要があり、救護所の統合についてもご検討いただきたい。

事務局：今後も検討させていただきたい。

(2) 救護所標準レイアウトについて

各医療救護所用のマニュアルの基準として、新たに救護所標準レイアウトを策定することについて、事務局から説明した。この議事について、委員からの主な質疑とそれに対する回答は以下のとおり。

委員：トリアージで黒タグと判定された患者については、院外（学校体育館など）に別途保管場所を検討していただきたい。少なくともトリアージポストの近くでは保管できないと考える。

事務局：トリアージで黒タグと判定された方については、市が開設する安置所へ移送するまでの一時保管場所として、人目につかない保管場所の確保等について、医療救護所となる各病院と調整を進めていきたい。

委員：医療救護所開設において、悪天候を考慮したテントを立てる設置場所の広さや周囲（敷地外）から見えやすい場所の回避に配慮が必要と考える。

事務局：救護所におけるテントの広さについては、今後、救護所となる各病院の救護所レイアウトを作成する際に、実地に併せて悪天候を考慮しつつ、十分な広さを確保できるよう、救護所レイアウトを作成する。また、救護所の設置場所については、令和5年10月の東京ベイ・浦安市川医療センターでの医療救護訓練後に、参加者から「救護所の周辺（想定している動線外）から、救護希望者が侵入してきた場合の対応を考慮する必要がある」等との意見があった。救護所となる各病院の救護所レイアウトを作成時に調整する。

(3) その他

本市の災害医療対策における今後の方針として、令和6年度にタムス浦安病院と協定の締結や救護所運営に必要な資機材を整備するための検討を行うこと、および災害医療に関するマニュアルを策定・改訂することについて、事務局から説明した。この議事について、委員からの主な質疑とそれに対する回答は以下のとおり。

委員：浦安市の現行のマニュアルについては、こういったスケジュール感で改訂をする予定なのかお示しいただきたい。

事務局：令和6年度中にマニュアルの改訂案を作成し、改めて委員各位にご意見をいただくことができるよう準備を進めていきたい。